matsu kiyo

Pain Relief and
Anti-Inflammatory
Cooling Lotion

鎮痛・消炎冷感ローション剤

コリセトル

1日数回

サリチル酸グリコールが

痛みに効く

つらい 肩こり 腰痛・筋肉痛に

薬のはたらき

肩こり　腰 痛　筋肉痛

筋肉疲労　関節痛　打 撲

サリチル酸グリコール：3.0g	・腫れや熱感などの炎症を鎮め、痛みを抑えます。
ノナン酸バニリルアミド：0.015g ニコチン酸ベンジルエステル：0.02g	・血行不良を改善し、肩こりや腰痛に効果を発揮します。
グリチルレチン酸：0.05g	・肩こりや腰痛に伴う炎症を抑えます。
l-メントール：3.0g	・清涼感による刺激と、軽い知覚鈍麻で痛みを抑えます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩：0.1g	・腫れや赤みなどの炎症を抑えます。

100g中

第3類医薬品

効能・効果

肩こり、腰痛、関節痛、筋肉疲労、筋肉痛、打撲、ねんざ

保管及び取扱い上の注意

(1) 使用後は、必ずキャップを十分にしめて、直射日光をさけ、涼しい所に立てて保管してください。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わってしまうことがあります。)
(4) 火気に近づけないでください。
(5) 時計、めがね等の金属類、化学繊維の衣類、プラスチック類、塗装のしてある床・家具等に付着すると変質することがありますので、付着しないように注意してください。
(6) 衣類に付着した場合は、なるべく早く水又は洗剤で洗ってください。
(7) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

⚠ 使用上の注意

☒してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1.次の部位には使用しないでください。
(1) 目の周囲、粘膜等
(2) 湿疹、かぶれ、傷口

相談すること

1.次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

2.使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症　状
皮　ふ	発疹・発赤、かゆみ、はれ、痛み

3.5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

製造販売元
ジャパンメディック株式会社
富山県富山市横越168

お客様相談窓口 ☎076-438-1107
受付時間：月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

開け口

特　徴

〈微香性〉

今まで人前でニオイが気になっていた人や、
ニオイに敏感な人でも安心して
使用していただけます。

〈塗布しやすい横型ボトル〉

首の部分が曲がっていて、
スポンジがピッタリと接しますので、
背中や腰などの塗りにくい患部にも
スムーズにむらなく適量を塗布できます。

〈つらい肩こり・腰痛に〉

ノナン酸バニリルアミド、
サリチル酸グリコール及び
l-メントール等の配合により、
つらい肩こり、腰痛、筋肉痛の原因となる
炎症や痛みをやわらげます。

コリセトル

第3類医薬品

こんな方におすすめ

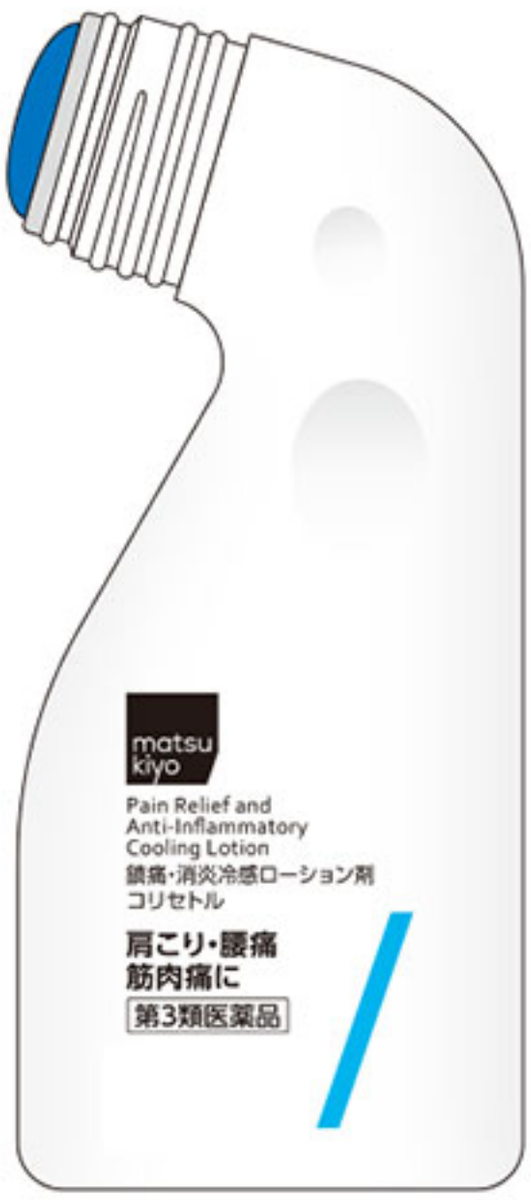
- 肩、腰、筋肉痛などのつらい痛みにお悩みの方

ご使用に際して、この箱の説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

火気厳禁

第二石油類 危険等級Ⅲ
水溶性 100mL
(エタノール)

※この商品は(株)マツキヨココカラ&カンパニーのオリジナル商品です。



セルフメディケーション税控除対象

成分・分量(100g中)

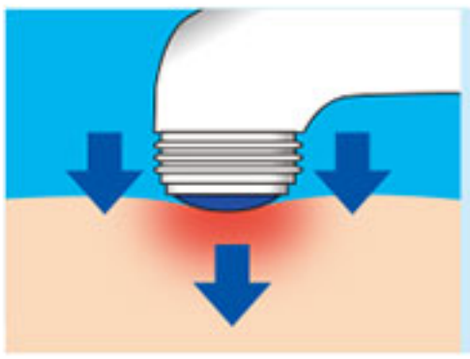
サリチル酸グリコール……3.0g
l-メントール……3.0g
クロルフェニラミンマレイン酸塩…0.1g
グリチルレチン酸……0.05g
ノナン酸バニリルアミド……0.015g
ニコチン酸ベンジルエステル……0.02g
添加物として、ヒプロメロース、プロピレングリコール、アジピン酸ジイソプロピル、エタノールを含有します。

用法・用量

1日数回、適量を患部に塗布してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。
(2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
(3) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
(4) 本剤のついた手で、目など粘膜にふれないでください。
(5) 外用にのみ使用してください。
(6) 入浴前後の使用はさけてください。
(7) 入浴時や発汗時に、本剤による刺激感や痛み、熱感を感じる場合があります。これらの症状を強く感じる場合は使用を中止し、患部をよく泡立てた石けんでやさしくなでるように洗い、水で流した後、冷水や軽くしぼったぬれタオルなどで十分に冷やしてください。症状の改善がみられない場合は、この箱を持って医師に相談してください。
(8) 塗布した患部をコタツや電気毛布で温めないでください。
(9) 皮ふの弱い人は、同じところに続けて塗布しないでください。
(10) 本剤を塗った後の患部を通気性の悪いものでおおわないでください。
(11) スポンジ面をゆっくり患部に数回押し当て、スポンジに薬液を十分しみ込ませてから患部に塗布してください。薬液をスポンジ面にしみ込ませないで使用すると、スポンジが破損する場合があります。



スポンジ面をゆっくり患部に数回押し当て、スポンジに薬液を十分しみ込ませてから患部に塗布してください。

鎮痛消炎薬